

令和3年第1回黒部市議会3月定例会

提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人） 通告要旨

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1	自民同志会 成 川 正 幸	<p>1 令和3年度予算編成について</p> <p>(1) コロナ禍で新しい生活様式が浸透し、地域で集まる機会が減少している中で、どれだけ市民の絆が深まるのか、市制施行15周年記念事業について伺う。</p> <p>(2) 健康ステップアップ事業において、市民の健康をしっかりと守るために特にチカラを入れたところを伺う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の拡大によって経済が落ち込み、税収が落ち込んでいる。今後数年間の税収見通しはどうか伺う。</p> <p>(4) コロナ禍で落ち込んでいる地域経済をコロナ禍以前に回復するために、消費を促す起爆剤の投入等、これまでにない大胆で積極的な経済対策が必要だと考える。本市独自の対策はあるのか伺う。</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う税収の落ち込みで、新たな歳入、自主財源の積極的な確保が必要ではないかと考える。例えば、市有財産の売却やふるさと納税、さらにはネーミングライツや広告収入などが考えられるが、本市の取組み状況を伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p> <p>市民生活部長</p> <p style="text-align: center;">市 長</p> <p>産業経済部長</p> <p>総務企画部長</p>
		<p>2 防災・減災・国土強靱化対策について</p> <p>(1) 出前講座等を活用して、地域においてリスクコミュニケーションの場を設ける事はできないのか伺う。</p> <p>(2) 地域の自主防災組織において防災力を向上させるためにも男女共同参画の視点を取り入れる必要を感じる。本市として地域防災組織の考えを伺う。</p> <p>(3) 防災力を高めるためには、リーダーの育成が重要になってくる。防災士や自主防災アドバイザー等の資格取得者が各地域にどれだけいるのか、活躍できる体制になっているのか。その中でも女性防災士の養成が不可欠であると考えが見解を伺う。</p> <p>(4) 地域の防災力、強靱化を進めるにあたり、住宅耐震化の重要性や補助制度を一般市民へのさらなる周知啓発が必要と考えるが見解を伺う。</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>都市建設部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	自民同志会 成川正幸	2 防災・減災・国土強靱化対策について (5) 本市においては令和2年4月に業務継続計画が策定されている。策定され1年経過しようとしている現在を検証も踏まえて伺う。 (6) 本市において国土強靱化地域計画の策定に向けた今後の見通しについて伺う。	防災危機管理統括監 都市建設部長
		3 女性活躍推進について (1) 令和3年度は行政課題への対応強化を図るとともに円滑でわかりやすい行政サービスを市民提供するために市の組織を見直すこととしている。それは女性活躍も視野に入れての事なのか伺う。 (2) 本市では、令和2年9月に黒部市特定事業主行動計画に基づく取組の実施状況が公表されていますが、それらについての評価と、4月からの次期計画での女性活躍の取り組みについて、どのように考えているのか伺う。 (3) 1年後の改正推進法の施行前に市内事業所にどのように広げていく考えなのか伺う。	市長 総務企画部長 総務企画部長
		4 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について (1) ワクチン接種が努力義務になっている。希望しないと判断される前にワクチンの有効性・安全性について、市民が安心して接種できるような情報提供をしなければいけないのではないか見解を伺う。 (2) 集団にするのであれば、全国で行われているワクチンの集団接種を想定したシミュレーションを行って課題を事前に知ることが必要ではないか見解を伺う。	副市長 市民生活部長
		5 生地駅周辺活性化事業について (1) 2019年12月定例会において、「産官民による生地駅周辺活性化の実現に関する請願書」が採択された後、事業に関連する吉田踏切移設と市道吉田4号線新設が進められている。生地駅移転等、生地駅周辺活性化事業の進捗よく状況を伺う。 (2) 今後、どのようなプロセスで進めていくつもりなのか伺う。 (3) 生地駅周辺活性化について第2次総合振興計画の後期計画に位置付ける考えはないのか伺う。	都市建設部長 都市建設部長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 小柳 勇 人	<p>1 令和3年度予算案について</p> <p>(1) 税収見込みを75億円としている。減収分は地方交付税と臨時財政対策債等で補い一般財源総額は確保する見込みであるが、合併地域振興基金など活用していること、市税の減少や扶助費など義務的経費の増加による独自財源の減少が心配される。</p> <p>(1-1) 平成20年のリーマンショック時は、個人市民税の納税義務者数一人当たりの所得が元の状態に戻るまでに約10年を要した。市民税、特に個人市民税の減少に対する認識について伺う。</p> <p>(1-2) 来年度予算案は、コロナ禍の影響が非常に強いと認識している。今年度も数度の補正予算、国の臨時交付金を中心に特別の予算編成となった。コロナ禍による影響が、予算編成や第二次総合振興計画の推進などに波及した内容について伺う。</p> <p>(1-3) 来年度から総合振興計画後期計画の策定作業が始まる。アフターコロナの時代にむけて、人口動態変動、地方創生、エネルギー問題、及びデジタル推進などが求められていることを踏まえ、持続可能な発展を目指し、事業の選択と集中においてワイズスペンディングの優先度を高めることを提言したい。総合振興計画後期計画策定に向けての方針について伺う。</p> <p>(2) 令和3年度予算の目玉事業について伺う。</p> <p>(2-1) 東京2020オリンピック聖火リレー、東京2020パラリンピック聖火黒部市採火式の目的、事業内容、及び参加される市民に期待することについて伺う。</p> <p>(2-2) アーチェリーインド代表事前キャンプについて、その内容、目的、及びインド代表チームとの五輪後を見据えた交流についての考え方を伺う。</p> <p>(2-3) 11月6日開催予定の記念式典を中心に様々な事業が予算提案された。そこで、市外からの訪問者が多く交流人口の増大が期待される、黒部シアター2021などの事業について、その目的と内容について伺う。</p> <p>(2-4) 「KOKOくろべ」へ市民の期待が高まっている。来年度は、開業を見据え、黒部野菜の栽培など市民の準備が本格化していくことを期待している。そこで、開業にむけて、来年度取り組む重点事項について伺う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育部長 市民生活部長</p> <p>教育部長</p> <p>産業経済部長 教育部長</p> <p>都市建設部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 小柳 勇 人	<p>1 令和3年度予算案について</p> <p>(2-5) 東日本大震災から10年が経過する。防災・減災については引き続き本市の実情に合わせて取り組むことが非常に重要だと考える。来年度の組織変更において防災危機管理統括監が独立するが、その役割と目的について伺う。</p> <p>(2-6) コロナ禍の令和2年度は、市民の交流機会、とりわけ高齢者の外出機会を激減させた。地域福祉計画に掲げる「地域共生社会」の実現を進めることがアフターコロナでは非常に重要だと考える。そのために高齢者ふれあい事業の充実など高齢者が以前のように外出し、地域社会と共存していくことが最重要課題と認識している。来年度予算において、どのように取り組むのかを伺う。</p>	<p>市 長</p> <p>市民生活部長</p>
		<p>2 上下水道料金について</p> <p>(1) 上水道、簡易水道、下水道ともに、値上げを行う理由と上昇額の根拠を伺う。</p> <p>(2) 上下水道料金検討委員会の提言書では、「水の安さ」にこだわらないこと、改定時期などコロナ経済影響を考慮すること、上下水道の計画的な施設更新などの付帯意見が提言されている。これらに対する市当局の考え方を伺う。</p> <p>(3) 上水道は、安定した水供給と施設の老朽化。下水道は、新設に伴う投資金額の増大と合併処理浄化槽の推進などの課題があると認識している。これらの課題への対応方針とその財源について伺う。</p> <p>(4) 上下水道について5年毎に見直しが行われていることや黒部市「新」水道ビジョンなどを踏まえ、概ね10年後の目指す上下水道の運営について伺う。また、施設老朽化や人口動態変化など憂慮される内容について伺う。</p>	<p>都市建設部長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 小柳 勇 人	<p>3 雪害について</p> <p>(1) 令和3年1月7日からの大雪について、道路の除排雪において検証した内容と浮き彫りになった課題について伺う。</p> <p>(2) 自助、互助、共助、公助。特に互助による地域ぐるみの道路除排雪の機能強化を重要視している。各地域に貸与している除排雪機械について配置、耐用年数など現況について伺う。併せて、国・県の制度をフル活用して整備していく計画について伺う。</p> <p>(3) 融雪装置について、今回の大雪災害において発生した問題点について伺う。併せて、現在のリフレッシュ事業の前倒しや冬季シーズン前の整備点検の徹底などの課題についての考え方を伺う。</p> <p>(4) 1月7日からの豪雪は、自然災害であったと考える。通常の雪害ではなく、大型の自然災害と捉え対応策を計画していくことを求めたい。台風時における「計画運休」が幅広い理解を得たように、減災の考え方が重要だと認識している。今回クラスの大型雪害への対応策について、策定スケジュールと検討方針について伺う。</p>	<p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>市長</p>

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	高野早苗 (一問一答方式)	<p>1 安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて</p> <p>(1) 当市における出生数の動向について伺う。</p> <p>(2) 当市の産後うつをどうとらえているのか伺う。</p> <p>(3) 子育て世代包括支援センターの機能について (ア) 子育て世代包括支援センターには助産師を配備している。さらに令和3年度予算ではパート職員ではあるが一人増員となっている。助産師に期待することを伺う。</p> <p>(3) 子育て世代包括支援センターの機能について (イ) フィンランドのネウボラは「相談する場」を意味し、「どの家族も問題は起こりうる」との予防的観点からすべての親子を支える制度である。厚労省は「日本版ネウボラ」として「子育て世代包括支援センター」を推奨し当市でも開設されている。妊婦にとって対話と傾聴はとても大切だと考える。しかしながらアクションを起こすことは勇気がいることで、母子手帳に保健師、助産師の担当名を明記するなど、いつでもSOSを出しやすい環境づくりについての考えを伺う。</p> <p>(3) 子育て世代包括支援センターの機能について (ウ) 妊婦が出産前に行われる、赤ちゃんの入浴の仕方など夫婦での勉強会は熱心に参加されていても赤ちゃん3ヶ月検診など生まれてからは母親の役目になっていることが多い。一番近くにいる夫の支えは、子育てには不可欠だ。妻の悩みにも気づき寄り添ってあげられるなど、父親向けの育児に関しての情報交換や学習の場が必要だと思うが見解を伺う。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	高野早苗 (一問一答方式)	<p>1 安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて</p> <p>(4) 地域の子育て支援ネットワークについて 家庭を個別に訪問する母子保健推進員の「こんにちは赤ちゃん事業」や、民生委員の「地域の宝事業」は、地域が見守る温かい取り組みだが、地域に慣れていない場合は訪問されると不安という方もおられる。そのような方にこそ、地域になじんでもらえる絶好のチャンスと考える。公民館をはじめ子育てに関連した地域のネットワーク組織図や連絡先が事前に分かると安心だし、訪問前でも相談が出来るとの保護者の声がある。対応は可能か伺う。</p> <p>(5) パパママサポートセンターの訪問支援について (ア) 黒部市子ども・子育て支援事業計画に「様々な保育サービスの一つとして児童の預かりについて、事業の実施団体、保育所、放課後児童クラブ等の各種団体と連携を図りサービスの向上を図る」とあるが、これまでどんな連携をとってきたのか。サービスを行う者が、出向く、訪問という選択肢の希望はなかったのか伺う。</p> <p>(5) パパママサポートセンターの訪問支援について (イ) 一時預かり保育の手段の一つ、家に出向いてももらえたらとても助かる。例えば多胎児などで、一人だけ病院に連れていきたい、あとは家でお留守番などニーズもあると思う。日中の一時預かり保育は市内の保育所やパパママサポートセンターで取り組んでいるが、パパママサポートセンターの訪問型の一時保育ができる機能強化について伺う。</p> <p>(6) マタニティタクシーについて (陣痛タクシー) (ア) 登録の導入について 「マタニティタクシー」は妊婦の住所、お産予定病院、出産予定日など事前に登録をし、陣痛がきた時、電話1本で社内研修を受けたタクシードライバーが駆けつけるシステムである。陣痛がきてから病院に移動しなければならないときの妊婦の強い味方である。導入に向けての当局の考えを伺う。</p> <p>(6) マタニティタクシーについて (陣痛タクシー) (イ) マタニティタクシーチケットプレゼントについて お産を控えた不安な中にいる妊産婦への支援の充実は安心してお産ができる環境づくりだと考える。市民の赤ちゃん誕生への応援を形にでき、妊産婦は頑張ってお産しなければならないという覚悟と責任が芽生えることを期待した「病院まで安全確実に届けるタクシー券」のプレゼントの考えを伺う。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	高野早苗 (一問一答方式)	<p>1 安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて</p> <p>(7) 県事業(富山県産後ヘルパー派遣モデル事業)との連携について 県の新しい事業がモデル事業として予定されている。やってみるとよい事業だと思うが、なぜ、黒部市は参加していないのか伺う。</p> <p>(8) 保育所との連携について (ア)「保育の出前」の強化について 保育士による「保育の出前」は黒部市を発祥とした子育ての大切さ、楽しさを伝える素晴らしい取り組みです。地域で見守る子育て、親学び等に成果が出ていると思う。もっと広めるために、黒部市として応援できる方策について伺う。</p> <p>(8) 保育所との連携について (イ)「マイ保育園」登録について 育児に対する不安感や負担感を解消するために、妊婦や在宅で3歳未満の子どもの保育を行う保護者の方に保育園に登録し、保育園行事の参加、おむつ替え、授乳や離乳食のアドバイス等を行うサービスだが、登録状況と周知方法について伺う。</p> <p>(9) イクボス宣言の検証について 共に働く部下の仕事と生活のバランスを考えながらその人のキャリアと人生を応援しながら組織に貢献し自らも結果を出す上司をイクボスといい、それを目指す宣言が黒部市でも平成30年7月19日になされた。女性活躍にもつながる働く環境の整備はとても大切と考えるが、これまでの成果と今後の進め方を問う。</p> <p>(10) 市内企業におけるイクボス宣言の検証について 多種多様な働き方を認めながらの会社経営が求められる中、女性活躍は、男性の協力・理解なくしては進まないと考える。また、仕事と生活のバランスをはかりながら効率や能率も求められるものとする。そんな中、市がイクボス宣言をした波及効果はあったのか。また、今後どのように推進していくのか伺う。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	谷村一成 (一問一答方式)	<p>1 ICT教育について</p> <p>(1) 文部科学省が打ち出した令和時代のスタンダードとしての1人1台端末と高速大容量の通信ネットワーク環境により、子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けたGIGAスクール構想を受けて、本市でも黒部市GIGAスクール構想の実現に取り組んでいるが、整備状況を伺う。</p> <p>(2) 1人1台の端末活用には大変期待しているところだが、具体的にどのように授業が変わるのか伺う。</p> <p>(3) ICT・デジタル化教育推進事業としてICT支援員及びGIGAスクールサポーターの設置を予定されているが、事業概要と業務内容を伺う。</p> <p>(4) GIGAスクール構想は、経済産業省が2020年3月に新型コロナウイルス感染症による学校休業対策として、学びを止めない未来の教室プロジェクトを始動させたこともきっかけとなり、いつでもリモート学習に切り替えられる環境を実現するといった役割が強く期待されるようになったとも考えられるが、本市のリモート学習に対する考え方を伺う。</p> <p>(5) GIGAスクール構想では、1人1台端末の整備と合わせて学習用ツールと校務のクラウド化を推奨しており、統合型校務支援システムをはじめとしたICT導入・運用により教員の働き方改革にも繋がるといえるが、本市ではどのような運用・活用をすべきだと考えるか。</p> <p>(6) 文部科学省が全国の学校に対し提示したGIGAスクール構想ではあるが、あくまで主体的に進めていくのは各自治体となる。自治体の取り組み次第ではICT教育に大きな差が出るとも考えられるが、本市独自の取り組み等は検討しているのか。</p> <p>(7) 今後のICT教育の中期的な計画を伺う。また、本市が目指すGIGAスクール構想は。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	谷村一成 (一問一答方式)	<p>2 公共施設跡地について</p> <p>(1) 本市の公共施設跡地については、黒部市公共施設の再編に関する基本計画の中で方向性が示されている。この計画は、平成28年度を開始年度とし5年を単位に見直すことを基本としていることから、令和3年度以降の方針が検討されているところと考えます。今後、公共施設跡地の処分・有効活用等はどのような体制の下で検討・計画されるのか伺う。</p> <p>(2) 令和5年春～初夏に開業が予定されている(仮称)くろべ市民交流センターに機能集約される、図書館、市民会館、働く婦人の家、三日市公民館の施設跡地についての今後の計画と所管課を伺う。</p> <p>(3) 学校再編により廃校となった小中学校跡地の活用方針を検討するため、民間事業者から広く意見、提案を求めるサウンディング型市場調査を実施されているが、進捗と課題を伺う。</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	辻 泰久 (一問一答方式)	1 北方領土問題について (1) プーチン大統領がロシアの改正憲法に盛り込まれた「領土割譲禁止」条項を根拠に北方領土返還を拒否したと報道されているが市長の見解を伺います。 (2) 昨年、富山県北方領土史料室が開館しました。より一層幅広く利用してもらうためにどのようにPRしていくのか市長の見解を伺います。 (3) 中学生作文コンクールでの優秀作品を北方領土返還のより広範な啓発と世論の高揚に繋げるためにどのようにすればいいか市長の見解を伺います。 (4) 市内中学校の修学旅行において、根室市周辺を訪れることができないか教育長に伺います。	市長 市長 市長 教育長
		2 姉妹都市交流について (1) 姉妹都市交流の現状に対する認識と今後の展開、姉妹都市交流の在り方について市長の見解を伺います。 (2) 宮城県大崎市と姉妹都市の締結を提案いたします。 (3) 米国ジョージア州メーコン・ビブ郡とは交流を深めているが、オランダ王国スドウェスト・フリースラン市とは大変疎遠になっている。この際アジア諸国の都市との新たな交流を考えられないか市長の見解を伺います。	市長 市長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	辻 泰久 (一問一答方式)	<p>3 移住定住について</p> <p>(1) 昨年末の黒部市での死亡者数、出生者数はどうであったか。</p> <p>(2) 地方移住を支援するふるさと回帰支援センターの移住希望地ランキングでは富山県は18位であり、決して人気が高いとは言えない状況です。本市への昨年度県外からの移住者は何人であるか伺います。</p> <p>(3) 本市では移住支援にどのような取り組みをしたか伺います。</p> <p>(4) 本市には地域おこし協力隊が現在3名活動をしています。地元で解けこんでそれぞれが一生懸命に活動しておられます。彼ら彼女らに宣伝マンとして黒部での実体験などを県外に向けて街宣活動をしてもらったらどうか伺います。</p> <p>(5) 国は自治体を支援する交付金を創設して企業の地方進出を促進しています。徳島県の神山町ではサテライトオフィスを整備して、教育(高校に科目を新設、私立高専開校)を手がかりに地方創生を進めています。地元住民、移住者、サテライトオフィスを開設したIT企業との協力により、将来の担い手を育て人口の流出の抑制も期待されています。本市も宇奈月中学校や東布施小学校などの旧校舎を利用して受け皿作りをして企業誘致に繋がれたらと思いますが市長の見解を伺います。</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	橋本文一 (一括方式)	<p>1 「道の駅KOKOくろべ」について</p> <p>(1) 「道の駅」運営には指定管理者、駅長の手腕が重要なポイントであると考えられると述べてきた。指定管理者が黒部市農業協同組合に決定したが、募集には何社の応募があり、選定委員会が黒部市農業協同組合に決めた最大の理由は何か、うかがう。</p> <p>(2) テナントには5つの厨房と物品販売の場所がある。募集にはそれぞれ何社の応募があり、選定委員会が決めた各社に決めた最大の理由は何か、うかがう。また、選定には各社の財務内容も調査されているのか、うかがう。</p> <p>(3) 物品販売のテナントには、債務超過にある宇奈月ビール株式会社が決定している。市民のみなさんから、驚きと選定委員会への批判の声が寄せられている。宇奈月ビール株式会社への入居は白紙にすべきであると思うが、どうなのか。</p> <p>(4) 誘致ゾーン事業用地については、これまでの答弁では、昨年1月31日に光陽興産と「基本協定」を締結し、現在、用地に係る所要の手続きを進めており、光陽興産の進捗を見ながら、賃貸契約を締結する予定」とのことであった。市民からは温浴施設は、本当に来るのかとの声が寄せられている。1.8ヘクタール誘致ゾーン事業用地の整備計画はどうなっているのか、うかがう。</p>	<p>総務企画部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p>
		<p>2 海岸防災林等の雪害被害やマツクイムシ被害について</p> <p>(1) 今年の豪雪によって海岸防災林の幹折れ等が多く発生している。折れた幹や折れ枝の撤去や伐倒処理等を行う必要があると考える。市としてどの様にするのか。また、マツクイムシ被害が拡大している。抜本的な対応を取らなければならないと思う。市としてどの様に把握し対策を行うのか。</p>	<p>産業経済部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	橋本文一 (一括方式)	<p>3 黒部市宇奈月温泉スキー場について</p> <p>(1) 近年、全国のスキー場はレジャー産業の多様化によるスキー客減少、温暖化傾向に起因するスキー場の廃止が多くみられる。宇奈月温泉スキー場も同様である。これまで、宇奈月温泉スキー場が黒部市の観光振興及びスポーツ振興に大きく寄与してきた。しかし、現状を見ると、これ以上赤字運営を続けることはできない。黒部市では、平成29年度に「中長期的に現状の体制及び経費では、スキー場の運営をつづけることは困難である」と判断し、黒部市宇奈月温泉スキー場検討委員会を立ち上げ、以後3年間の運営状況をみて、黒部市が、継続・廃止等の判断を行うという結論に達した。今シーズンが検討委員会の報告書要望の最終年度である。わたしとしては、スキー場を廃止するべきと考えるが、どうか。</p>	産業経済部長
		<p>4 後期高齢者医療保険について</p> <p>(1) 政府は、後期高齢者医療制度を改定し、2022年10月から年収200万円以上ある人、夫婦2人で年金収入320万円以上ある人は、医療の窓口負担をこれまでの1割から2割負担に引き上げる方針である。昨年末に「全世代型社会保障検討会議」で方針を決めた。対象者は約370万人で、負担が2割になると窓口負担は約3万4千円増えて11万7千円になると報道された。年間の年金約200万円の支給は、月あたりに換算すると16万6千円ほどになる。社会保険料は月1万6千円ほどになる。今回の改定もお年寄りには大変大きな負担であり、やめるべきであると考えているが、どうか。また、本市の対象者は何人で、昨年の医療費と比較して負担増となる予想額はいくらか。窓口支払いは1人当たりいくらかで、どれだけ増えることになると予想されるのか。</p> <p>(2) 政府は、2割負担の導入は「現役世代の負担上昇を抑えるために」と言っているが、実態はどうなのか。厚労省は、今回の窓口負担増で、現役世代が保険料で直接負担する支援金の抑制額は1人当たり年いくらかになると試算しているのか。</p> <p>(3) 昭和58年に老人医療費が有料化された時点で、老人医療費に占める国庫負担割合は45%であった。平成20年に後期高齢者医療保険制度導入時に35%に引き下げた。今年度の年金が4年ぶりに引き下げられる。政府は、社会保障の充実にと、消費税を5%から8%、10%に引き上げた。社会保障の充実にと引き上げたのなら、こういう時こそ、その財源を高齢者の医療費に占める国庫負担割合の拡充等にあてるべきと考えるが、どうか。</p> <p>(4) 市長は富山県後期高齢者医療広域連合の議員であるが、議会の中でもそして国に対して負担増を考え直すよう訴えることが必要と考える。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	柴沢太郎 (一問一答方式)	<p>1 デジタル関連について</p> <p>(1) 2021年度予算案において、他自治体における行政サービスのデジタル化が次々と報じられている状況にある。本市においても、多くの市民が生活の必需品として用いている様々なデバイスに行政サービスや施策を対応させ、新たな文化や価値観を市民と共有することが急務であるとする。そこで、令和3年度における本市のデジタル化について見解を伺いたい。</p> <p>(2) 利便性の高い行政サービスの提供や、自治体職員の業務効率化を実現するため、自治体のスマートシティ化を推進する「LINEスマートシティ推進パートナープログラム」が2020年7月21日に創設されており、2021年2月時点で全国で350以上の自治体が、また県内においても富山県及び6市町がすでに加入している状況にある。LINEを活用した行政サービスのデジタル化事例の情報提供、企画提案や導入支援、自治体同士のコミュニティづくり等にも取り組んでいることから、本市も参加すべきだと考えるが。</p> <p>(3) 1月に起きた大雪の課題として、本市からの情報量の少なさと情報提供のあり方に問題があったと考える。その結果、市民の不安が増大することで混乱を招き、不確実な情報が拡散していたことがあげられる。そこで、既存の情報提供手段のみならず様々な情報発信ツールを活用し公的な機関から細目に情報提供を行うことや、また事後になって、みらーれTVで市長メッセージの収録が行われたわけであるが、SNSを介してLIVEもしくは録画映像で迅速に発信すべきだと考えるが。</p> <p>(4) 道路除雪作業や、また道路の維持補修等においても、根本的な問題として市が管理する道路が多すぎるのではないかと考える。本市において運転免許保有者が運転免許証を返納する平均年齢から逆算して考えても、近い将来、通行量がほとんどない路線が多く生じることが危惧される。また、路面補修においても時間を要していることから、既存の道路を維持管理し続けることは厳しいのではないかと考える。将来的な道路維持管理について見解を伺いたい。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>都市建設部長</p>
		<p>2 道の駅KOKOくろべについて</p> <p>(1) 一昨年12月の観光・都市活性化振興特別委員会で損益分岐点売上高・レジ通過数等、道の駅に係る経費が示されており、本年1月全員協議会においてテナント出店者の選定結果が示されたわけであるが、改めて「想定」の数値は従来通りのままなのか。また併せて、施設への利用者数増を図ることについてどのような検討がなされているのか伺いたい。</p>	<p>都市建設部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	柴 沢 太 郎 (一問一答方式)	<p>3 イベント関連事業について</p> <p>(1) コロナ禍における現在、まだ収束していない状態で市制施行15周年記念を中心とした数多くのイベント関連事業が予算案として出てきているが何故なのか。また、何故「15」なのか。</p> <p>(2) 数多くのイベント関連事業を企画していることは地区要望会の際に言って頂きたかったと考える。市長がこれまで述べてきたこととの整合性について伺いたい。</p> <p>(3) 短期間に多くのものが集中すると、参加者はともかく裏方に相当の負担を強いることになる可能性もあるが、この点についてどのように考えているのか。</p> <p>(4) 市制15周年記念式典は何故行う必要があるのか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	柳田 守 (一問一答方式)	<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種に係る本市の対応について</p> <p>(1) 去る1月12日付けで黒部市民がワクチンを速やかに接種できるよう、副市長を本部長とする「黒部市新型コロナウイルスワクチン接種本部」が設置された。主な業務内容として住民への接種勧奨、個別通知、集団接種のための医師・看護師確保、会場確保等多様な業務を抱えるが、今後の見通しも踏まえ接種本部の人員体制等を伺う。合わせて接種会場等現段階での準備の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 広報くろべ3月号に「ワクチン接種」が特集され、対象者、接種回数、クーポン券(接種券)の配布時期等と合わせ、接種スケジュールとして65歳以上の方から、4月より順次接種を進めていく予定とあるが、ワクチンの供給時期が不透明な折、3月下旬からのクーポン券配布等事務的に問題は生じないのか。合わせて3月中旬開設予定とするコールセンターについても伺う。</p> <p>(3) 県が実施する医療従事者等のワクチン接種(先行・優先)も2月19日の富山労災病院等を皮切りに始まったが、当初の終了予定の3月末まではおよそ3万9千人の医療従事者等に対し現行1万回分しか確保見込みがたたず、4月以降にずれ込む見込みと聞く。市が行う住民接種と並行的な接種になると考えるが、その影響等を伺う。</p> <p>(4) 2月26日の政府会見で高齢者3600万人が2回接種できる量について、6月中に全国自治体へ配送完了できると明らかにするも、接種終了時期は自治体の計画により異なるとし明示しなかった。また接種時期は、自治体が計画通り進めてもらえばいいとあった。ワクチンの配送時期やその供給量が不透明な中、具体的な接種計画をどのように立てられるのか伺う。</p> <p>(5) 2月15日、新型コロナウイルスワクチン接種事業費1億8618万2千円が専決された。歳入として、国10/10の接種対策費負担金及び接種体制確保事業費臨時補助金が確保されるが、予算算定の具体的な事業内容等を伺う。またワクチン総供給量や配布時期が不透明な中、事業費が補助の上限額を上回り財源が不足する可能性は無いのか。</p> <p>(6) 去る2月22日、知事と15市町村長による「ワンチームとやま」連携推進本部の臨時会合があり、その席で接種券(クーポン券)は全市町村で同時期に発送することで合意。また県から定期的に最新の状況を発信していくことを確認。さらには、集団接種での医師・看護師確保課題、市町村をまたぐ共同接種の可否、現時点で「準備に限界がある」との声もあったと聞く。同会議に参加された市長の率直な思いをお聞きしたい。</p>	<p>副市長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	柳田守 (一問一答方式)	<p>2 防災行政無線デジタル化整備事業について</p> <p>(1) 令和3年度予算説明資料によると、本年度デジタル化整備工事費10億6705万4千円、工事施工監理業務委託費1088万3千円、計10億7793万7千円と極めて大型事業であり、また財源の大半は地方債である。まず、この事業の概要とその必要性を伺う。</p> <p>(2) 昨年5月に示された「デジタル規格対応の防災行政無線整備」によると、旧黒部市で整備した同報系屋外拡声子局23カ所、旧宇奈月町で整備した18カ所、計41カ所のほかに新たに22カ所に子局を設置、計63カ所に増設し伝播エリアを拡大するとあった。ほぼ全市を網羅していると思うが、市民の在宅時における放送カバー率はどれくらいと想定しているか伺う。</p> <p>(3) 同報系屋外拡声子局の工事の際、既存設置場所での新たなコンクリート柱の設置、新設場所でのコンクリート柱の設置等において、自治振興会等の関係者と調整は済んでいるのか。また工事はいつから行う予定としているか伺う。</p> <p>(4) 移動系の配置として移動局・半固定局81局、うち指定避難所77カ所、また車載局10局を公用車に配置するとあるが、それぞれ、具体的な利用形態をどう想定しているか伺う。</p> <p>(5) 戸別受信機は屋外拡声子局との相互補完の関係上、非常に有用であると考えている。自治振興会等を通じ各世帯に1台千円の負担金で購入を進めたが、現在の申し込み状況を伺う。</p> <p>(6) 先の工事請負業者との契約工期は、令和4年7月29日までとあるが、デジタル化工事完成後、いつの時点で運用開始を考えているのか。また現状の黒部エリアの放送内容と宇奈月エリアの放送内容に若干の違いがあるが、今後一律の放送となるのか、あるいは地域独自の放送も可能なシステムか伺う。</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	伊東景治 (一括方式)	<p>1 学校教育について</p> <p>(1) 学年末から新学期の約3カ月の休校期間は、授業時間だけでなく、学校運営にも大きな影響があったと考える。その遅れをどのように対応して本年3月を迎えたのか。児童生徒の声、教育現場の声、保護者の声などに真摯に応えることが出来たのか。</p> <p>(2) 通常の授業に感染症対策が加わった教職員の働き方は、労働時間の増加やストレスの原因になっていないか。</p> <p>(3) 統合による新しい中学校の開校と新型コロナウイルス対応で2重の負荷状況の中で適切な判断をする立場の教育長としての所感と新年度を迎える抱負は。</p> <p>(4) スピーディに適切な決断をしなければならなかった市長の1年を振り返っての所感と新年度への抱負は。</p> <p>(5) コロナ感染予防のために、年間行事や各種大会がかなり中止となった。部活やスポーツ少年団の活動にも大きな影響が見えてきた。富山県スポーツ少年団の団員登録統計によると、黒部市のスポーツ少年団の2020年度の登録団員数が353人となり、昨年度に比べ62人減っており、大幅な減少である。魚津市でも70人、富山県では997人の減で、少子化だけでなく、コロナの影響が大きいと考える。この状態が続けば団運営が難しくなり、やがてはスポーツ界にも影響があるのではないかと危惧する。教育長の考えは。</p> <p>(6) 教科担任制によって学級担任の負担が軽くなり、児童の学習が深まる効果を期待できる。教科担任制は小学5、6年に導入する。実験や観察が重要になる理科、学習につまずく児童が多い算数、20年度から教科となった英語の3教科が想定され、「中1ギャップ」対策としても期待される。課題は児童の個性や課題の把握やいじめの発見など手薄にならないか、あるいは担任と専門教員との連携などであるが、1番の課題は人材の確保である。2022年度からの本格導入に向けてどのような取り組みが検討されているか。</p> <p>(7) 小学校と連携する保育所のコロナ感染への対応については、一部民間の運営でもあり、独自の保育の管理・運営をとっていた。一斉休校の対象でもなく、依頼された乳幼児を受入しなければならない職場でのコロナ対応について、かなり苦労があったと思う。新年度を迎えるにあたり1年間を振り返り今後の抱負について。</p> <p>(8) 提案理由説明の中で、1月12日に副市長を本部長とする「黒部市新型コロナウイルスワクチン接種本部」を設置したとのこと。ワクチン接種の優先順位等で話題になっているが、医療、介護の従事者はもちろん、教育や保育の従事者も早期に接種すべき対象と思うが。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市民生活部長</p> <p>副市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	伊東景治 (一括方式)	<p>2 立山黒部ジオパークについて</p> <p>(1) 今回立山黒部ジオパークが日本ジオパークとして再認定された。2019年1月に条件付き再認定されてからの約2年間の活動は、月1回ペースで発行されている「たてくろジオパークだより」を読むと、かなり真剣に取り組んできたことが感じ取れるが、どのような点が評価されたのか。</p> <p>(2) 今回の再認定審査の過程で新たに指摘された課題とは何か。</p> <p>(3) 今後の立山黒部ジオパークの活動について、世界ジオパークの認定に向けて取組みを進めているのか。</p> <p>(4) 本市には黒部川扇状地はじめかなりの数のジオサイトがある。市民にジオパークをより広く認識してもらうには、生涯学習、博物館事業、公民館活動、学校教育などはもちろん民間の団体、企業等への活動に繋げなければならない。具体的な取組みについて。</p> <p>(5) 新規事業であるジオサイト保護・活用事業のように「下立の大理石」のある下立地区全体で保全・活用等の管理運営をする方法は素晴らしい試みだと考える。他のジオサイトへの展開は検討されているのか。</p> <p>(6) 関西電力と富山県が「黒部ルート的一般開放・旅行商品化に関する協定」に締結し、大きな期待をして2年余り経つ。ジオツアーとしても一級品である。2024年度に一般開放すると発表したが、現在は計画通りの進捗であるか。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	大辻菊美 (一問一答方式)	<p>1 高齢者在宅福祉支援について</p> <p>(1) 今回の大雪でくろベネット支援対象者及び要支援者に対して安否確認が行なわれた。重大な報告はなかったとのことだが、他の一人暮らし高齢者に対しての安否確認が必要と考える。そのための対策について伺う。</p> <p>(2) 一人暮らしの高齢者等に対して必要に応じて配食サービスが週3回まで利用できる。今回の大雪で配達が不能となってしまう弁当を受け取れなくなった方がいたが対処について伺う。</p> <p>(3) 徘徊高齢者SOSネットワーク事業がある。高齢化が進み認知症患者も増加している中、徘徊して居場所がわからなくなった場合に事業者と連絡を取りながら捜索することで早期発見・保護を行い、介護家族の精神的・肉体的負担を軽減を図るための事業である。より多くの協力事業所が登録することによって、早期発見につながると思うが現状について伺う。また、個人協力登録が出来ないのは何故か伺う。</p> <p>(4) 来年度の予算に新規事業として認知症高齢者等でかけあんしん損害保険加入事業費が計上されている。徘徊高齢者SOSネットワーク事業の登録者を増やすための周知啓発について伺う。</p> <p>(5) 本市では、一人暮らし高齢者が安心、安全に暮らせるように電気保安点検事業・火災予防点検事業が実施され火災予防について注意喚起を行っているが2～3年ほど前から点検を利用する人が減少している。多くの一人暮らし高齢者が点検を利用するための周知啓発について伺う。</p> <p>(6) 日常生活用具(自動消火器・電磁調理器)、緊急通報装置(火災センサー含む)を支援する事業がある。平成28年から自動消火器・電磁調理器が一部負担になったことで設置者が減少した。自己負担を抑えることによって設置者も増えるのではないか。また、安否確認にもなる緊急通報装置の設置も一人暮らし高齢者が増加しているにもかかわらず減少している。設置の必要性の周知について伺う。</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	大辻菊美 (一問一答方式)	<p>2 ハラスメントのない良好な職場づくりについて</p> <p>(1) 2020年(令和2年)6月1日より、職場におけるハラスメント防止対策が強化されたが、働きやすい職場環境づくりのためのハラスメント防止等に関する規定の整備について伺う。</p> <p>(2) 職場のハラスメントの実態を把握するためのアンケートを実施することによって、職員一人一人のハラスメントについての意識を高める効果や、ハラスメント行為者を抑制する効果にも期待できると思うがアンケートを実施しているのか、また、ハラスメント行為が認定されたことがあるのか伺う。</p> <p>(3) ハラスメントを起こさないための事前防止対策として、ハラスメントを与える影響を理解し、ハラスメントのない職場、一人一人が能力を十分に発揮でき働きやすい職場づくりに繋がるための研修実施について伺う。</p>	<p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p>

○一括方式とは
議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは
議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式